

ベトナム 医療における資格及び医療関係者の状況

2011年から医療従事者は免許制に移行し、2016年までに医療従事者の皆免許となる予定である。免許の取得は、国家試験によるものではなく、医科大学（看護大学）卒業後、医師は18ヶ月、看護師は12ヶ月、助産師は9～12ヶ月の实地研修（現場体験）を経て、政府保険局に申請することで、免許が与えられる。

現地日本人医師インタビューによると、医師数は、都市部では病院数に対しては、比較的充足しているほうであるが、小児科や精神科の医師は足りていないとのことである。省レベルは比較的ましな状況であるが、郡レベルは医師がほとんど足りていない状況といえる。公立病院の医師の待遇は良いとは言えず、公務員のバンド（職階）でも高くない状況にあるのも、医師が不足している要因の一つといえる。

医師の留学先としてはフランスが多く、これはベトナム医科大学はフランスが作ったものであることも起因しているものと考えられる。最近では、アメリカやオーストラリアも留学先として増えている状況ではあるが、日本はフランスと異なり、留学中に研修生が治療行為に関与できないことからあまり留学先として人気は高くないとのことであった。